

図書だより

3年生は卒業まで残すところあと1ヶ月あまりとなり、新しい扉はすぐ目の前まで来ています。ですが、まだまだ気を抜けないこの季節、本の世界でリラックスしてはいかがでしょうか？

宇都宮市立姿川中学校
令和3年度第10号発行

卒業まで
あと…



図書室からお知らせ

3年生の図書室利用について

3年生の図書の貸出は、2月18日(金)までとなります。18日以降、本を借りたい人は、申し出てください。また、3年生の廊下にある本は2月25日(金)に図書室に戻します。その本を借りた生徒はそれまでに返しておいてください。

読書は心の栄養です。お昼休みなど、図書室内で本を読むことはできますので、最後までたくさん読んでくださいね！1・2年生については3月号でお知らせします。

2月は省エネルギー月間です！

地球の資源環境を考えて「資源とエネルギーを大切に作る運動本部」が1976年3月29日に決定しました。

2月は、1年のうちで一番冷え込む月です。そのため、暖房など家庭でのエネルギーの消費がピークになるときです。この地球に住む、私たち一人ひとりにできることは何でしょうか？限りある資源を上手に使って、快適な生活をおくりましょう！

SDGsについて

2015年9月、国会総連で世界中の全加盟国の賛成のもと採択されたSDGs。現在と未来の地球のため、そして人類の幸福のために達成すべき17個のゴール(目標)です。

“Sustainable Development into Goals”を略したもので、日本語では「持続可能な開発目標」と訳します。17個のゴールのうち7番目に「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」があります。未来のために自分ができるエコ活動をしてみましょう。

あなたはできてる？くらしのムダを見直そう！エコ活動チェックリスト

- 冷房や暖房は適切な温度で使う。
- 人のいない部屋の照明は消す。
- 新しく電気製品を買い換えるときには、省エネ性能の高いものを選ぶ。
- 使っていない電気製品はコンセントを抜く。
- 見ていないテレビは主電源を切る。
- 買い物をするときはマイバッグを使う。
- 必要の無い包装は断る。
- 歯みがきやシャワーを使うときには、水を流したままにしない。
- わりばしは使わずに、「マイはし」を使う。
- 空き缶やペットボトル、牛乳パック、古紙などの資源は、分別して回収に出す。
- こわれたものは修理して使う。
- 風呂の残り湯は洗たくや水やりに使う。
- シャンプーや洗剤などは詰め替えのできる商品を使う。
- ごはんやおかずは残さず食べる。
- 使い捨て商品はなるべく使わない。
- リサイクル品や環境を考えたエコ製品を買う。

あなたはいくつあてはまりましたか？この他にも様々なエコ活動があります。「省エネ」というと、電気やガスだけと思いがちですが、それ以外の項目も考えてみると、つながっていることに気づきましょう。

参考文献 「考えよう！地球環境身近なことからエコ活動5 家庭ではじめるエコ活動 私たちにできること」

がんばれ明日の自分 おすすめの本

この時期何かと忙しく、心も身体も疲れ気味の人も多いと思います。そこで、明日の元気につながる本を紹介したいと思います！

「なでし子物語」

伊吹有喜／著 ポプラ社／刊

「ずっと、透明になってしまいたかった。でも本当は、『ここにいるよ』って言いたかったんだ。いじめにあっている少女・耀子、居場所がなく過去の思い出の中にだけ生きている未亡人・照子、生い立ちゆえの重圧やいじめに苦しむ少年、立海。三人の出会いが、それぞれの人生を少しずつ動かし始める。「どうして？」を「どうしたら？」にするには、小さなきっかけが必要なのかもしれません。言葉にならない祈りをすくい取る、温かく、強く、やさしい物語。読み終わった後にたくさん元気もらえるそんな本です。その後を綴った続編「地の星」「天の花」も出ています。ぜひ温かい気持ちを味わってみてください。

「ハリネズミの願い」 文藝春秋/刊

トーン・テレヘン/著 長山さき/訳

「親愛なるどうぶつたちへ。きみたちをみんなぼくの家へ招待します」ある日、自分のハリが大嫌いで、つきあいの苦手なハリネズミが、誰かを招待しようと思いついた。さっそく招待状を書き始めるが、手紙を送る勇気がない。もしクマがきたら？カエルがきたら？フクロウがきたら？臆病で気むずかしいハリネズミに友だちができるのか？



2月22日は、ネコの日

3年生の国語の授業で紹介しました！

「愛撫」 梶井基次郎 著

「私はゴロッと仰向きに寝転んで、猫を顔の上へあげて来る。二本の前足を掴んで来て、柔らかなその蹠（あしのうら）を、一つずつ私の眼蓋（まぶた）にあてがう。快い猫の重量。温かいその蹠。私の疲れた眼球には、しみじみとした、この世のものでない休息が伝わって来る。」～本文より～

無類の猫好きの梶井基次郎の短編です。猫が好きな人もそうでない人も共感できる作品です。ぜひ読んでみてください。



2月14日はバレンタインデー

3年生の国語の授業で紹介しました！

「じいさんばあさん」

森鷗外 著 くもん出版

麻布の三河国奥殿の松平家邸内に年老いた夫婦が移り住んだ。七二歳のじいさんと七歳歳のばあさん。年老いて晴れ晴れした静かな日々を迎えた二人の暮らしですが、ここに至るまでに二人が経験してきた様々な苦難をやさしい目線で書いています。森鷗外が理想とした夫婦像を描いたと言われています。



1月の貸出冊数

1年 …195冊 2年 …114冊
3年 …130冊 先生方… 4冊
合計 …443冊